

安全データシート（SDS）

ロックウールフェルトW100

整理番号 : SDS-M1102
初版 : 2015年03月13日
改定 : 2025年01月14日

アイジー工業株式会社

安全データシート

1. 製品及び会社情報

- ◇製品の名称 : ロックウールフェルト W100
- ◇会社名 : アイジー工業株式会社
- ◇住所 : 山形県東根市蟹沢上縄目1816-12
- ◇担当部門 : 水戸工場 技術管理チーム
- ◇電話番号 : 029-240-9977
- ◇FAX番号 : 029-240-9978

推奨用途及び使用上の制限：建築建材等

「ご使用の目的に応じて適切な規格の製品を使用し、使用用途において安全性に問題が無き事を十分確認の上、ご使用下さい。」

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1

(注) 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

安全対策

粉じんを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
ロックウール繊維	-	60 - 70	-
セルロース系繊維	65996-61-4	1 - 10	-
バインダー	非公開	1 - 10	非公開
硫酸アルミニウム(無水)	10043-01-3	1 - 10	1-25
ポリエチレンテレフタレート	25038-59-9	1 - 10	7-1022
エチレングリコール・イソフタル酸・テレフタル酸重合体	24938-04-3	1 - 10	7-705; 7-1026
クラフト紙	非公開	1 - 10	非公開
ポリエチレン	非公開	1 - 10	非公開
アクリル系接着剤	非公開	1 - 10	非公開
シリコーン	非公開	< 1	非公開
二酸化チタン	13463-67-7	< 1	1-558; 5-5225

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

硫酸アルミニウム(無水), ロックウール繊維

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

硫酸アルミニウム(無水), 二酸化チタン, ロックウール繊維

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合（作業工程で発生した粉じんや廃棄物）

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合（作業工程で発生した粉じんや廃棄物）

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合（作業工程で発生した粉じんや廃棄物）

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合（作業工程で発生した粉じんや廃棄物）

口をすすぐこと。

直ちに医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

医師に対する特別な注意事項

医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、粉末を使用すること。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物アセトアルデヒドを生成する。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

(作業工程で発生した粉じんや廃棄物が漏出した場合)

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

粉じんが飛散しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

作業工程で発生した粉じんを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

(局所排気、全体換気)

排気/換気設備を設ける。

(注意事項)

作業工程で発生した粉じんが皮膚に触れないようにする。

作業工程で発生した粉じんが眼に入らないようにする。

作業工程で発生した粉じんの堆積を防止する。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

強酸、強酸化性物質、フェノール類との接触を避けること。

衛生対策

- 作業工程で発生した粉じんを眼、皮膚、衣類につけないこと。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

- 乾燥した場所に保管すること。
- 屋内保管すること。
- (避けるべき保管条件)
- 高温多湿を避けること。
- 火気厳禁。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(二酸化チタン)

日本産衛学会(第2種粉塵)(吸入性粉塵) 1mg/m³; (総粉塵) 4mg/m³

(ロックウール繊維)

日本産衛学会1繊維/mL

(二酸化チタン)

ACGIH(1996) TWA: (10mg/m³) (下気道刺激)

ばく露防止

設備対策

- 排気/換気設備を設ける。
- 洗眼設備を設ける。
- 手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：固体(シート状)

色：白色と茶色の三層

臭い：無臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点：105 - 120°C (離型紙)

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体): 可燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点：≥ 480°C(ポリエステル)

自然発火点：(含有有機質)200 - 500°C

分解温度データなし
pH：適用外
動粘性率：適用外
溶解度：
 水に対する溶解度：不溶
 溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧：適用外
蒸気密度：適用外
蒸発速度データなし
密度及び/又は相対密度：0.19 - 0.25g/cm³
相対ガス密度(空気=1)：適用外
粒子特性：適用外

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

高温多湿を避けること。

直射日光、着火源(裸火、火花など)を避けること。

混触危険物質

強酸、強酸化性物質、フェノール類

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、アセトアルデヒド

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(二酸化チタン)

rat LD₅₀ >5000mg/kg (SIDS, 2015)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(二酸化チタン)

hamster LD₅₀>10000mg/kg (HSDB, Access on May 2016)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(二酸化チタン)

dust: rat LC₅₀ >5.09mg/L (SIDS, 2015)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(ロックウール繊維)

一過性の眼刺激 (ACGIH, 2001)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[日本公表根拠データ]

(二酸化チタン)

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)

(二酸化チタン)

IARC-Gr.2B：ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(二酸化チタン)

ACGIH-A4(1996)：ヒト発がん性因子として分類できない

(二酸化チタン)

日本産衛学会-2B：人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(ロックウール繊維)

気道刺激性 (ATSDR, 2008)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ロックウール繊維)

呼吸器 (ATSDR, 2004)

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(二酸化チタン)

甲殻類 (オオミジンコ) EL50 > 100mg/L/48hr (SIDS, 2015)

水溶解度

(硫酸アルミニウム(無水))

よく溶ける (ICSC, 1994)

(二酸化チタン)

溶けない (ICSC, 2002)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

生体蓄積性データなし

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号：該当しない
正式輸送名：該当しない
分類または区分：該当しない
容器等級：該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程) に該当しない

IATA 航空危険物規則書に該当しない

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類)
硫酸アルミニウム(無水)(Y-488)
有害液体物質(Z類)
二酸化チタン(Z-058)

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品
有機溶剤等に該当しない製品
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険/有害物
硫酸アルミニウム(無水)(別表第9の37); ロックウール繊維(別表第9の314)
名称通知危険/有害物
硫酸アルミニウム(無水)(別表第9の37); 二酸化チタン(別表第9の191); ロックウール繊維(別表第9の314)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

水質汚濁防止法

指定物質

硫酸アルミニウム(無水)
法令番号 44

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2020 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和元年度（2019年度））です。